

さくら教室だより

令和6年12月11日
東久留米市立第九小学校
校長 山本 真美枝
特別支援教室 担任



もうすぐ冬休みです



ご多用のなか、個人面談にお越しいただきありがとうございました。

ご家庭とお子様についての情報を交換でき、とても充実した時間となりました。今回の面談の内容を今後の指導により一層活用していきたいと思っております。3学期もよろしくお願いいたします。



<今後の予定>

12月16日(月)指導終了
12月20日(水)巡回終了
1月9日(木)巡回開始
1月15日(水)指導開始

青ファイルは指導記録だけを残し、
学校校にお戻しく下さい。
冬休みは学校で保管します。



○指導がない日でも、以下の日程は各校に教員がおります。何かありまし

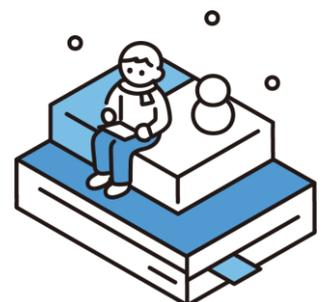
たら、ご連絡ください。

【12月】

17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	23日(月)~
五小 南町小	九小 南町小	九小 南町小	五小	九小

【1月】

9日(木)	10日(金)	13日(月)	14日(火)
九小 南町小	五小	九小	五小 南町小



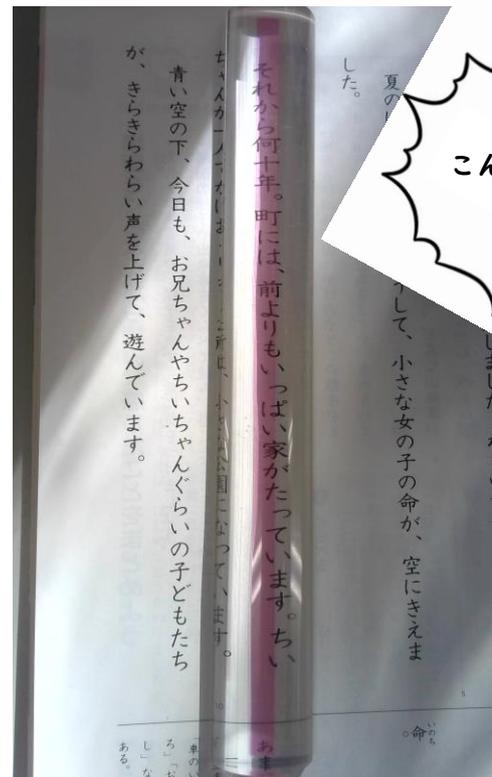
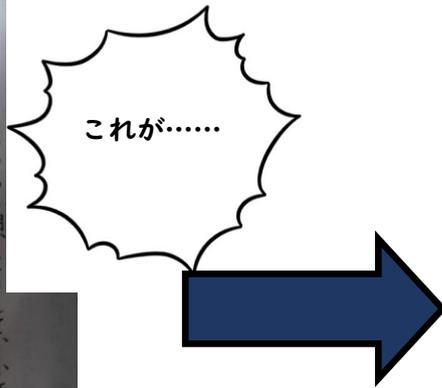
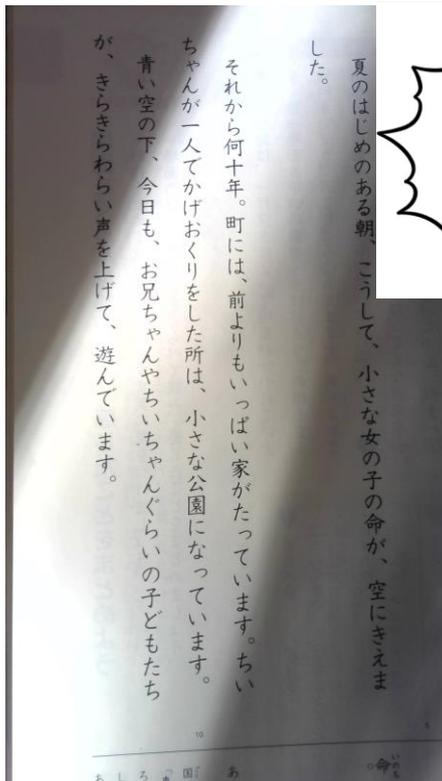
【さくら教室のちょこっとコラム】

○学習サポートアイテム、教材紹介



下の写真は、読むことが苦手なお子さんをサポートする定規です。定規自体がルーペになっており、字の上に乗せると文字が拡大して読みやすくなります。さらに、色付きの線でどこを読めばいいのか分かりやすく示してくれます。さくら教室でも一部導入してみました。

読むことが苦手なお子さんは、どこを読めばいいのか視線の定め方が苦手な場合や、文字を形として認識することが苦手など見え方に困り感を抱いている場合もあります。その子に合った支援をさぐり、サポートしていきたいと思えます。



MIM (ミム)：さくら教室でも実践しています！

初期の「読み」の指導における最大の難関である「特殊音節」に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり、書いたり、なめらかに読んだりすることをめざす指導モデルです。通常学級に4.5%の割合（クラスに1～2人）で在籍するとされるLD（学習障害）の子どもは、特殊音節の習得に低学年の段階からつまづきを示す場合が多くあります。「音」と「文字」が対になっていないためです。「語」を正確に読むことが、「速やかに、滑らかに読むこと（流暢性）」につながり、ひいては「内容を読み解く力」につながります。（サイト内の説明を引用；[多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・指導パッケージ](#)）